



第九永遠なり 鳴門初演100年

～ 板東俘虜収容所の記憶をたどって 記念講演会・企画展

2018(平成30)年6月1日は「板東俘虜収容所」の講堂で、アジアで初めてベートーヴェン作曲の交響曲「第九番」合唱付きが全楽章演奏されてから100周年を迎えます。この記念日に向けて、一般社団法人徳島新聞社では2016(平成28)年5月24日から「第九永遠なり 鳴門初演100年」と題する1面記事の連載を、「第九」にちなみ全9章の構成で始めました。連載は、鳴門の第九や「板東俘虜収容所」の歴史を軸に、その後の国際交流や第九にかける人たちの思いを伝え、人類愛と世界平和のメッセージを徳島から発信することが目的です。様々なテーマから関係者への取材を重ね、この取材により、失われようとしていた「板東俘虜収容所」に関する貴重な証言が数多く収集することができています。

今回の講演会は、特集記事を担当する同社藤長英之編集委員が、取材の中で感じた100年続く「板東俘虜収容所」と鳴門の第九に対する思いや、交流の軌跡を語ってもらいます。

また、この講演会にあわせ2階企画展示室で関連資料の企画展を行います。

記念講演会

開催日時 平成30年4月7日(土) 13:30～15:30

開催場所 鳴門市ドイツ館大会議室

講師 一般社団法人徳島新聞社
編集委員 藤長英之氏

演題 第九永遠なり 鳴門初演100年
—板東俘虜収容所の記憶をたどって—

入場無料



講演会連動企画展

「第九永遠なり 鳴門初演100年
—板東俘虜収容所の記憶をたどって—」

会期 平成30年3月29日(木)～
4月29日(日)

会場 鳴門市ドイツ館 2階企画展示室

開館時間 9:30～17:00 観覧料(常設展示もご覧いただけます)
(入館16:30まで)
休館日 第4月曜日

	大人	小中学生
通常	400円	100円
団体	320円	80円

藤長英之氏略歴

1973年 美馬市脇町生まれ
1996年 徳島新聞社入社
文化部、脇町支局、阿南支局、社会部を経て現職
社会保障関連の記事をはじめ、JICA連載
「アフリカの今」、戦後70年連載「あのとき」
など長期連載を担当。ドイツ国際平和村の現地
取材も行う。



主催 鳴門市・徳島県教育委員会・一般社団法人徳島新聞社 共催 鳴門市うずしお観光協会
鳴門市は、徳島県、ドイツ、ニーダザクセン州、リューネブルグ市と共催で「板東俘虜収容所関係資料」をユネスコ「世界の記憶」への登録を目指しています。

